



天然素材で、全てに優しく

「マルセイユ石鹸」のレシピを参考に開発した羽毛専用洗剤を使用し、環境にも人にも優しい羽毛を生み出す

	洗濯用マルセイユ石鹸(液状)	合成洗剤
起源	・地中海沿岸のマルセイユ地方発祥、10世紀から製造 ・1688年にルイ14世により製造方法など厳格な基準が制定され、フランス王室御用達の石けんとして「王家の石鹸」、「石鹸の王様」と呼ばれた ・主成分が100%天然由来	第一次世界大戦中(1918年～)、天然油脂が欠乏し従来の石鹸製造ができなくなり、石油を原料として開発された
成分	植物油(オリーブオイル)、天然塩、天然ソーダ、水など	合成界面活性剤、蛍光増白材、酵素、アルカリ剤、水軟化材など
原材料	バイオマス* 90%: 天然油脂(規格外商品のオリーブを使ったオイル)、天然塩、天然ソーダなど	石油
補足	・主成分が天然由来であり、分解処理しやすく、水汚染及び健康被害の可能性は非常に低い   	環境及び健康へ悪影響を及ぼす可能性が存在する: ・石油原料のため、自然界の炭素流通量を増加させる ・下水処理でも完全に分解しきれず、河川に泡となって流れ込む ・富栄養化によりプランクトンが大量発生し(赤潮)、魚類の大量死 ・皮膚障害(肌荒れ・ひび割れ・はげ・白髪)や皮膚疾患の悪化 ・カスが残留していて刺激や痛みを感じる場合もある ・経皮吸収されアトピー性皮膚炎を誘発するアレルゲンの原因となる ・他の化学物質と同じように遺伝子の中に組み込まれ胎盤を通して子から孫へと受け継がれてゆく ・製造設備の大規模化、適切な公害防止化が必要

*バイオマスとは、「動植物から生まれた、再利用可能な有機性の資源(石油などの化石燃料を除く)」のこと

当社は、フランス生まれの良質石鹸「デュ・サボン・ド・マルセイユ」のレシピをベースに開発した、羽毛洗浄に特化したマルセイユ石鹸を使用しています。

海のキレイさを守るために 規制基準を大きく下回る数値で排水

項目	国の基準	伊勢湾総量規制基準	KWD測定値
汚濁物質（浮遊物質） （mg/L）	150	70	基準値内
窒素含有量（mgN/L）	60	60	基準値内
磷含有量（mgP/L）	8	8	基準値内

排水処理槽（外観）



排水処理槽（上部）





安全な水と海のキレイさを 海辺をウォーキングしながらゴミ拾い

清掃活動のブルーサンプラプロジェクト(年数回)と当社主催のSDGs勉強会
(毎月開催)を通して、清掃活動と健康促進を両立するイベントを開催

<https://umisakura.com/bluesanta/>

<https://blueshipjapan.com/crew/sdgsisefutamicity>

ブルーサンプラ参加の様子
海辺をゆったり歩きながら清掃活動



参加時はブルーを身につける

